



わたしたちの大学生協共済は2030年にこうなっていきたい

- 1 「たすけあいの輪でつくりあう
キャンパスライフ」
- 2 「組合員・加入者の声と参加があるからこそ、
広がるたすけあいの想い」
- 3 「大学生協共済との関わりで
育まれる学生の成長」



スピーク

4つの課題

- 1 学生一人ひとりの学業継続や
キャンパスライフに貢献する
- 2 大学や社会における相互扶助や
協同の精神を育む
- 3 大学生協共済の事業と活動を
通じて大学生協の価値を高め、
大学に貢献する
- 4 「大学生協の4つの使命から
展開する21世紀8つのビジョン」
の実現の一翼を担う



より多くの
声



より多くの
参加



タヌロー



タヌリーヌ

大学生協共済 4本柱の活動

報告

給付(共済)ボードをはじめとした学生への報告、
アニュアルレポートをはじめとした大学への報告、
様々な地域社会への発信を展開。

加入

学生が学生に、直接対話の場を
通じて、共済の良さを、実感をもって
伝える取り組みを展開。

給付

学生が学生に、困った様子の学生を
見かけたら声をかける習慣がキャンパスに拡大し、
学生と寄りそう相談活動を展開。

予防

学生が学生に、給付事例の学習や
学生のリスクに基づいた、
創意工夫溢れる予防活動を展開。



国際連合ではSDGsを掲げ、
「誰一人取り残さない」社会
づくりを提唱している。